

Rotary



八尾ロータリークラブ会報

2015
vol.55
No.5

7 / 29



世界へのプレゼントになろう

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



八尾RCバナーの主旨
「我々のクラブは、老いも若きも
相手を敬愛し、和気あいあい、
楽しいクラブライフを送っている
ことが誇りであります」

国際ロータリー テーマ

**世界への
プレゼントになろう**

国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン

八尾ロータリークラブ テーマ

**リラックスロータリーで
豊かで楽しい人生を**

会長 村本 順三

国際ロータリー 第2660地区 テーマ

**変革を！ロータリーを通じて
奉仕（プレゼント）を！**

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー 立野 純三

第2640回 例会 プログラム

- ▼開会「点鐘」
- ▼ロータリーソング
「八尾ロータリー讃歌」
- ▼出席報告
- ▼その他の報告
- ▼会務報告
「会長の時間」「幹事の時間」
- ▼SAA報告 ニコニコ箱
- ▼卓話
「会員増強に因んで」
山本勝彦会員
- 「今必要な事」 宮川 清会員
- ▼閉会「点鐘」

▼卓話予告

8/5「八尾市の犯罪状況と防犯活動」
八尾警察防犯係 小島浩人様

会長の時間

皆さん足元の悪い中、ご出席いただきまして有り難うございます。

先週末の金光八尾中学高等学校の奉仕(掃除)活動に参加いただきました皆様、蒸し暑い中ご苦勞様でした。

梅雨があけたと報道があり、いよいよ暑さも本番に入りました。ツユの語源は6月から7月にかけての初夏の長雨を「ツユ」と呼び、漢字では梅の雨、バイウと書きます。中国では揚子江流域で、梅の実が熟す時期に雨期があり、それをバイウと呼んでいるそうです。「バイウ」を「つゆ」とよぶようになったのは江戸時代の頃からで語源については諸説の以下があります。

- *木の葉などに降りる「露」から来ている。
- *梅の実が熟してつぶれる時期であることから、「つぶれる」を意味する「潰」ついでるから来ている。
- *梅のつくりになっている「毎」は毎度とか毎日とか、連続して雨が降るこの時期に梅雨という漢字が当てられた。
- *昔中国ではカビの雨と書いて微雨だったのだそうです、たしかにカビの季節とはいえ語感が悪いので、梅雨という字に改められたという説もあります。

本日例会後に第一回55周年式典実行委員会が開かれますが、委員長のための会議ではありませんので多くの皆さんの参加をお願い

います。

先週の例会で和やかな例会にするような野次は歓迎と言いましたが、野次と言う表現は誤解を招きそうなので取り消します。例会を盛り上げ和やかな雰囲気をかもし出し、話がし易くなる相槌のような応援発言は歓迎と言う事でご理解ください。「聞き上手」な皆さまで卓話者が「話し上手」になるような環境作りにご協力ください。

幹事報告

▼18日に金光八尾の清掃活動が行われ、青少年奉仕委員会から山陰委員長ほか田中・中西(広)・西会員に参加いただきました。

▼同日午後、地区の米山研修会が開催され、中西(広)・宮川会員と幹事で出席しました。

▼29日、笠井副会長に大阪フレンドRCを訪問していただきます。

▼31日から来月2日に、少年少女ニコニコキャンプが開催されます。西、田中、中西(広)会員に参加いただきます。

米山奨学生より

▼三宅 建 様

来週からアメリカへ帰国します。ロータリーの皆様とはこれまでも、いろいろとお話をさせてもらって、勉強になっています。

この度、妹が結婚しますので、帰国して結婚式に出席します。その後、家族とともに過ごす予定です。

また9月に帰ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

その他の報告

▼55周年実行委員会・

池尻 誠 委員長

本日例会後、実行委員会を開催します。委員長はじめ皆様のご出席をよろしく願いたします。

▼青少年奉仕委員会・

山陰 恭志 委員長

18日に金光八尾の夏期奉仕活動に参加してまいりました。田中・宮川会員と私で川に入り、清掃を手伝ってきました。

▼井川 孝三 会員

8月5日に三宅博会員の激励会を開催します。皆様のご参加をお願いします。

▼ゴルフ部・稲田賢二 副部長

8月13日に宇野会員の古希のお祝いコンペを開催します。奮ってご参加ください。

卓 話

「ロータリーの歩み」

▼井川 孝三 会員

ロータリークラブは1905年2月23日、鉱山技術者のガスターバス・ロアの事務所に石炭商のシルベスター・シール、洋服の仕立屋のハイラム・ショウレイ、そして弁護士のパール・ハリスの4人が集まり記念すべき第1回目の例会が開催されました。

この年、日露戦争がありました。パール・ハリスは日露戦争の戦況をラジオで聞きながらロータリークラブ設立の準備をしたと聞いております。

当時のシカゴは、1893年に開催

されたコロンビア万国博覧会後の大不況となり多数の会社が倒産。シカゴの町は詐欺、横領、かっぱらいなどが横行し殺伐としておりました。

そのような状況下でポール・ハリスは心温まるような仲間が欲しいということでロータリークラブを設立しました。

当時のロータリーの目的は、親睦と相互扶助でした。5人目のロータリアンは、ハリー・ラグルスという印刷屋さんでした。彼は馬車の車輪からヒントを得てロータリーのマークを考えました。また例会に歌を持ち込んだことでも有名です。

翌年の1906年、ある会員がドナルド・カーターに入会を勧めました。「みんな楽しくやっているのでは是非入会して欲しい」と勧めたところ「あなたがたは確かに楽しいでしょうが、シカゴの町には多くの失業者、身体障害者といった社会的弱者がいるにも関わらず、彼らに手を差し伸べることをしないで自分達だけが楽しくしているのはエゴである。そのような仲間にはなりたくはない」と入会を断りました。

それを聞いたポール・ハリスはクラブの目的に社会奉仕を加え、そのことを聞いたドナルド・カーターは快く入会しました。

1908年ハリー・ラグルスの紹介でロータリーの発展に大きな貢献をした2人が入会しました。そのひとは32年間事務総長としてロータリーの拡大、管理、運営に手腕を発揮したチェスレー・ペリー。も

うひとり職業奉仕の元祖ともいべきアーサー・シェルドンです。

シェルドンはロータリーの精神骨格ともいべきvocational serviceをロータリーに持ち込みました。その後、1917年、当時のRI会長アーチ・克蘭フの提案によりロータリー財団の前身のロータリー基金が設立されました。

ロータリー基金が設立されたこの1917年はどのような年であったかと申し上げますと、1914年から始まった第一次世界大戦にアメリカが参戦した年です。また、メルビン・ジョーンズによりライオンズクラブが設立された年でもあります。

そして、設立されたばかりのライオンズクラブは、戦争で犠牲になった人々のために大変活発に人道的支援をしました。当時のロータリアンもそのような人道的支援をしなければならないという強い思いがあったのですが、もっと大切なことは、このような戦争、紛争ができるだけ起こらないように努力すべきだと考えました。そのためには、国と国、民族と民族、お互いが理解を深めることが大切である。それには、まず教育に力を入れるべきである。教育を施すことによってお互いの理解を深め、争いを少しでも減らせるのではないかという考えに至ったのです。

ロータリー財団は設立されたが寄付金が集まらず、資金不足に悩んでおりました。そして、1947年ポール・ハリスが亡くなりました。彼は、生前「私の葬式には花は入

りません。もし、花を買って下さるお金があるならば、そのお金をロータリー財団へ寄付して欲しい」と言い残していました。

ロータリー財団は、彼の死を偲んでポール・ハリス記念基金を世界に呼びかけました。そして、翌年の7月までに130万ドルが、世界のロータリアンからポール・ハリス記念基金として送られてきました。そのお金をもとに、初めて18名の国際親善奨学生を派遣することができたのです。アーチ・克蘭フの夢がやっと叶ったのです。

このプログラムが始まって70年近くなりますが、この間に派遣された国際親善奨学生は4万人を超えます。これは、民間奨学制度では世界最大です。

親睦と相互扶助で始まったロータリークラブは、ドナルド・カーターの入会をきっかけに社会奉仕、アーサー・シェルドンが入会し職業奉仕、アーチ・克蘭フの提案で国際奉仕へと発展したのです。

日本におけるロータリーの普及

1917年米山梅吉は政府の財政調査団員として訪米、テキサス州ダラスで福島喜三次と運命的な出会いをします。福島はダラスRCのメンバーで米山梅吉にRCの理念を説き語りました。梅吉はロータリーの理念に感動し、1920年東京ロータリークラブを設立しました。初代会長には米山梅吉、幹事に福島喜三次が選出されました。

しかし、設立されたものの例会

は月に一度程度しか開かれず出席率も低かったようです。せっかくできたが存続が危ぶまれていました。当時の日本を振り返ってみると長い封建鎖国の時代から明治維新を経て大正時代、大正デモクラシーと言われていましたが、それはうわべだけで組織運営、精神的にも封建的でした。

そこへロータリークラブの万民平等、そして友情を重んじるクラブの運営、といった考え方が日本社会に受け入れられにくかったようです。ロータリー活動に関心が薄く、出席率も低い東京クラブがロータリーの素晴らしさを認識させることになったのは皮肉にも関東大震災でした。

1923年9月1日に起こった関東大震災に対して、当時のガイ・ガンディガーRI会長からお見舞いの電報とともに25,000ドルの義援金が送られてきました。そしてそのことが呼び水となり世界17か国、503のロータリークラブからも義援金や救援物資が届けられました。

義援金総額は89,000ドルに及びました。今のお金にすると数億円にもなる金額です。東京ロータリークラブはこの義援金を元に人道的な支援を幅広く行いました。このような義援金が送られてきたことが一般の人は勿論、ロータリアンですら驚いたとともにロータリーとはなんと素晴らしい世界的な集団であるということが認知されるきっかけとなりました。

東京ロータリークラブの会員は

今後の予定

月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
31		8月 会員増強・拡大月間			1	2		1	2 理事会	3	4	5	6
3 工場 見学	4 地区 インターアクト 海外研修(台湾、~7H)	5	6	7 リーグ 一研	8	9	7	8	9 55周年 実行委員会	10	11	12	13
10	11	12 (例会休会)	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19 自然の中で(~20H)	20	21	22	23	21	22	23 (例会休会)	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29 地区財団 セミナー	30	28	29	30 ガバナー補佐 クラブ協議会	基本的教育と 識字率向上月間			9月

奉仕の喜びを身を持って体験し、それまで月1回しか開催されなかった例会を毎週水曜日に開催することになりました。そして、このことがきっかけとなり、その後の日本でのロータリークラブの発展、拡大に繋がったのです。

ニコニコ箱

▼村本会長 本日例会後の55周年実行委員会に多くの参加よろしくをお願いします。

▼笠井副会長 いつもお世話になります。今日もロータリーで勉強させていただきます。

▼飯田幹事 雨が多くて仕事がバタバタです。

▼松本会員 井川さん卓話宜しく。

▼高井会員 イーストホノルル例

会出席致しました。皆様によろしくとのことです。

▼池尻会員 55周年初顔合わせ宜しくをお願いします。

▼小山会員 早退お詫びします。

▼中川(廣)会員 先週の土曜日、ぎっくり腰になりました。少しずつよくなっていますが、濱岡さん、次のゴルフはスクラッチでお願いします。

▼井川会員 本日卓話よろしくをお願いします。

▼川田会員 初親睦会欠席お詫び。

▼田中会員 明日、八尾市において「社会を明るくする運動」のシンポジウムとしてプリズムホールにて(2:00~4:00)更生保護をテーマに開催します。時間のある方は宜しくをお願いします。

▼濱岡会員 半年ぶりにゴルフして来ました。半分以上は歩きとカートでした。

▼柏木会員 例会欠席お詫び。写真有難う。井川さん本日の卓話楽しみにしています。

▼野田・奥谷会員 早退お詫び。

▼新宮会員 山本さん、小谷さん先月はありがとうございました。

▼長竹会員 本日は、例会前BGM流してみました。

▼吉田会員 写真有難う。例会欠席お詫び。

▼野村会員 よいことがありますように。食後のコーヒーサービスのご利用よろしくをお願いします。

本日の合計 51,000円

累計 465,000円

今期の目標 3,500,000円

出席報告

月日	会員数	出席	(内出席規定適用免除者)	出席率	メイクアップ	確定出席率
7/8	54	38	6	80.85%	1	82.98%
7/15	54	38	6	80.85%		
7/22	54	39	6	82.98%		